植調協会だより

■試験成績検討会

●平成27年度茶園関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会
日時：平成28年3月24日（木）　13:30〜15:00
場所：植調会館3階会議室
〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6
TEL 03-3832-4188

■平成27年度植調関東支部雑草防除研究会・関東雑草研究会合同研究会のお知らせ

日時：平成28年3月11日（金）　9:15〜16:40
場所：文部科学省研究交流センター
〒305-0032 つくば市竹園 2-20-5
TEL029-851-1331

●9:20-12:00　関東雑草研究会講演会
「雑草防除における化学生態的アプローチの最前線」
①「アレロケミカルなどの植物由来成分の研究は雑草制御に役立つか」
藤井義晴(東京農工大学大学院農学研究院)
②「根寄生雑草の生存戦略の化学的解明と防除への応用」
杉本幸裕(神戸大学大学院農学研究科)
③「アレロケミカルから重力屈性阻害剤へ–有機合成化学者の関わり方–」
新藤充(九州大学先導物質化学研究所)
④「重力屈性阻害物質を利用したつるの巻き付き防止技術の開発の試み」
藤井義晴(東京農工大学大学院農学研究院)

●13:45-16:45　植調関東支部雑草防除研究会
「大豆・ムギの多収阻害要因と雑草防除」
①「農水委託研究プロジェクト「多収阻害要因解明」の概要」
新良力也(中央農業総合研究センター 土壌肥料研究領域)
②「農水委託研究プロジェクト「多収阻害要因解明」の雑草関連課題」
小林浩幸(中央農業総合研究センター生産体系研究領域)
③「難防除雑草侵入防止を目的とした畦畔管理技術の開発」
井原希(中央農業総合研究センター生産体系研究領域)
④「大豆作における雑草一発防除技術の可能性」
山本義賢（日本植物調節剤研究協会 研究所）
⑤「茨城県における大豆多収阻害要因の実態解明調査」
中村憲治(茨城県農業総合センター 農業研究所)
⑥「栃木県における大豆・ムギの多収阻害要因の現状とプロジェクト研究への取組み」
渡辺浩久（栃木県農政部 経営技術課）
⑦「麦の多収阻害要因の現状」
箕田豊尚(埼玉県農業技術研究センター)
⑧「山梨県における大豆多収阻害要因の実態と課題解決に向けた方向性」
石井利幸(山梨県総合農業技術センター栽培部)
⑨「長野県における大豆生産の実態と生産性向上への方向性」
青木政晴(長野県農業試験場 作物部)

●17:30-19:30　情報交換会「カフェテラスカメリア」（つくば市吾妻一丁目 1364-1オークラフロンティアホテルつくば本館 2F，TEL029-852-1112）

編集後記

暖冬傾向でしたが，ここに来て一転，全国的に荒天が続いています。

2月号は除草剤の効果に及ぼす土壌の影響の特集です。特集は，農薬の環境動態を調べる際に有用である「土壌情報閲覧システム」および「e-土壌図」，土壌中での分解と吸着に焦点をあてた温度との関係の解説、全国の土壌を集めて比較した土壌吸着性についての解説を行っています。また，黒ボク地帯である栃木県からは，除草剤の普及指導について執筆いただきました。現場からの声として，皆様方の活動のお役に立てれば幸いです。　（編集子）

植調第 49 巻　第 11 号

■ 発　行　　平成 28 年 2 月 12 日
■ 編集・発行　公益財団法人日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東 1 丁目 26 番 6 号
電話 (03)3832-4188　FAX(03)3833-1807
■ 発行人　　小川　奎
■ 印　刷　　㈲ネットワン

© Japan Association for Advancement of Phyto-Regulators (JAPR) 2015

頒布価　500 円 (消費税・送料は含んでおりません)
販　売　株式会社全国農村教育協会
〒 110-0016　東京都台東区台東 1-26-6(植調会館)
電話　03-3833-1821